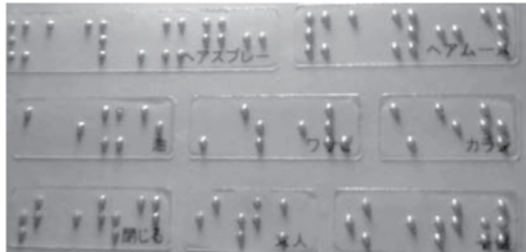


点字をカラー化 健全者見やすく

プリントス(愛知県一宮市、堺義弘社長、0586・51・2930)は、点字に赤などの色をつけて健全者にも見やすくした「おまかせ点字シート」を発売した。健全者の視認性を高めて点字の普及につなげるのが狙い。

価格は標準的な30語をまとめたシート1枚で980円。企業や家庭向け点字シートに赤・青など目立つ色をつけた



に拡販し、年間1000枚の販売を目指す。

プリントスがシート発売

製品化したのは「現在地」や「会議室」など場所を示す言葉を集めた触知図編、「シャンプー」や「エアコン」など日用品を表す語句をまとめた一般消耗品編の2種類。いずれも30語を1枚のシートにすることで、従来は発注者ごとに3万円程度かかっていた版代を無料とした。点字の色は赤、青、黄の三つで背景に応じて目立つ色を選べる。

通常の点字シートは健全

常者への配慮から、透明色にする場合がほとんどだった。だが、プリントスが視覚障害者などにヒアリングしたところ「点字表示板まで案内してほしいが、健全者も場所が分からない」などの声があった。

同社は樹脂材などへの文字印刷が主力。スクリーン印刷の技術を応用して紫外線硬化型のインクを利用した点字の印刷も手がけている。

(名古屋)